

玉名市都市・地域総合交通戦略策定

玉名市：（全域）

1. 概要

本地区は、都市機能施設が集積する市中心市街地にあり、在来線玉名駅は、1日当たり約5000人が利用する県北最大の重要な交通結節点となっている。しかし、駅のバリアフリー化が未着手、駅南北では道路網が分断しており、人や車の往来など利便性や回遊性において不十分である。このため「コンパクト・プラス・ネットワーク」をテーマに持続可能なまちづくりを実現するため、令和6年度から令和8年度までに調査を行い、中心市街地の長期的な戦略目標を定め、持続的な施策の展開を図るため「玉名市都市・地域総合交通戦略(玉名駅周辺)」を令和8年度に策定する。

2. 計画内容

事業主体	玉名市
事業内容	玉名市都市・地域総合交通戦略策定（防交1 / 2）
所在地	熊本県玉名市全域 <small>くまもとけんたまなしぜんいき</small>
延長等	計画策定一式
事業期間	令和6年度～令和8年度
全体事業費(A)	C = 約0.9億円（R6末予定進捗率26%） （内国費0.49億円、玉名市0.49億円）
R8事業費(A)	C = 0.09億円（内国費0.045億円）
R9以降残事業費(A)	C = 約0億円（内国費0億円）
供用予定	令和8年度（公表可）
全体事業費(ABC)	C = 約0.99億円（内国費0.495億円、玉名市0.495億円）
R8事業費(ABC)	C = 約0.093億円 （内国費0.0465億円、玉名市0.0465億円）

3. 整備効果

都市・地域総合交通戦略(玉名駅周辺)を策定することで、交通結節点及び公共交通軸の利便性の向上、(乗継ぎ・待合い環境)の改善や土地利用等の施策など一体的に取り組みを行いたい。



<都市・地域総合交通戦略推進事業>

玉名市都市・地域総合交通戦略事業(玉名駅周辺)について

■調査の内容・目的

本地区は、都市機能施設が集積する市中心市街地にあり、在来線玉名駅は、1日当たり約5000人が利用する県北最大の重要な交通結節点となっている。しかし、駅のバリアフリー化が未着手、駅南北では道路網が分断しており、人や車の往来など利便性や回遊性において不十分である。このため「コンパクト・プラス・ネットワーク」をテーマに持続可能なまちづくりを実現するため、令和6年度から令和8年度までに調査を行い、中心市街地の長期的な戦略目標を定め、持続的な施策の展開を図るため「玉名市都市・地域総合交通戦略(玉名駅周辺)」を策定するものである。

■経緯

- R4.3 : 玉名市立地適正化計画策定
- R4.6 : 玉名市立地適正化計画公表
- R6.3 : 玉名市地域公共交通計画策定・公表
- R7.4 : 玉名市まちなかランドデザイン策定・公表

■計画内容

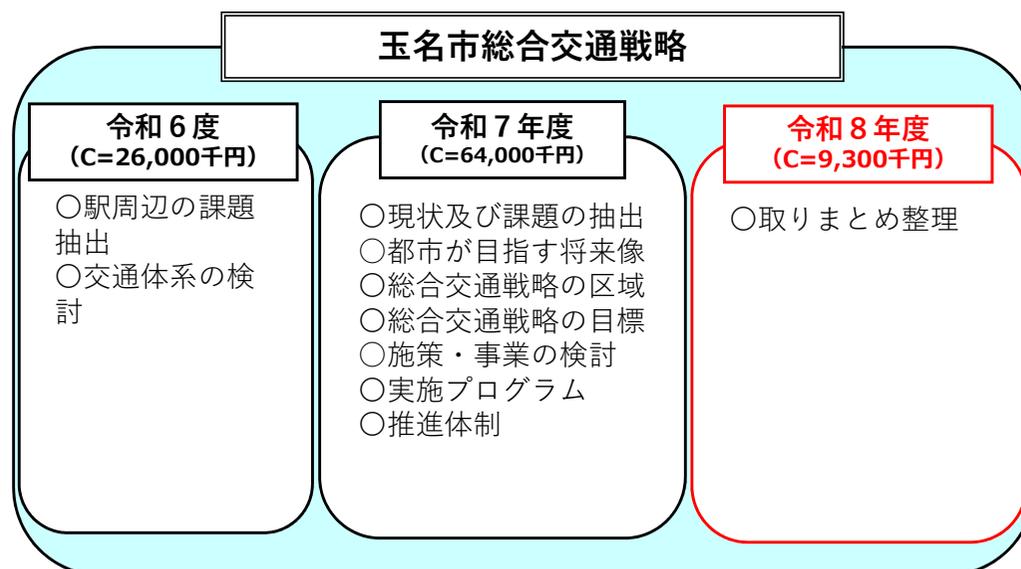
- 事業主体 : 玉名市
- 全体事業費 : C=99,300千円
- R6年度 : C=26,000千円
- R7年度 : C=64,000千円
- R8年要望 : C=9,300千円

■今後の予定

- R8 : 玉名市総合交通戦略の策定
- R9以降 : 総合交通戦略の進捗管理及び成果チェック
- 概ね10年後 : 総合交通戦略の見直し・改定

■各種計画の検討状況

- 玉名市まちなかランドデザインアクションプラン (策定中)



地区が目指す将来像

モビリティハブ



スコットランドが計画する「モビリティハブ」のイメージ。複数の移動サービスを集約した拠点で、移動しやすいまちづくりの新標準となりつつある（画像/CoMoUKホームページより）

自由通路



概ねの対象エリア (自動車、自転車の通行環境改善)

